



Samsung Galaxy S6 Edge充電ポート用ドーターボードの交換

このガイドでは壊れたSamsung Galaxy S6...

作成者: Sam Goldheart



はじめに

このガイドでは壊れたSamsung Galaxy S6 Edgeの充電ポート用ドーターボードを交換する方法を扱っています。このコンポーネントにはオーディオジャック、充電ポートとサイドボタンが含まれます。

このガイドではリアガラスを取り外します。リアガラスを外すには付けられた圧着材を破壊しなければなりません。リアガラスを再装着するには[このガイド](#)を参照してください。

🔧 ツール:

ハンドル付き吸盤 (1)
ピンセット (1)
SIMカード取り出しツール (1)
iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)
iOpener (1)
プラススクリュードライバー(#00) (1)
精密ピンセットセット (1)
スパッジャー (1)

⚙️ 部品:

Galaxy S6 Edge Charging Daughter Board (T-Mobile) (1)
Galaxy S6 Edge Charging Daughter Board (Verizon) (1)
Galaxy S6 Edge Charging Daughter Board (Sprint) (1)
Galaxy S6 Edge Charging Daughter Board (AT&T) (1)

手順 1 — SIMトレイ



- 紙クリップかSIMカード取り出しツールを、デバイス上部のSIMカードスロットの穴に差し込みます。
⚠️ ツールをマイクの穴に差し込まないようにご注意ください。破損の恐れがあります。SIMカードトレイがどこにあるか確認してください。
- ツールを押し込んでSIMカードトレイを取り出します。
- 電話本体からSIMカードトレイを取り出します。

手順 2 — iOpenerの使用方法



① 電子レンジに付着している汚れがiOpenerに付いてしまうことがあるので、使用前に電子レンジの底をきれいに拭き取ってください。

● iOpenerを電子レンジ中央に置きます。

⚠ 回転型の電子レンジ：iOpenerが電子レンジのターンテーブルで回転しているか確認してください。iOpenerが作動中に留まってしまうと、熱しすぎや焦げてしまいます。

手順 3



- iOpenerを**30秒**温めます。
- 修理作業中はiOpenerが冷めてしまいますので、使用毎に電子レンジに30秒入れて温めてからご利用ください。

⚠ 作業中、iOpenerを温めすぎないようにご注意ください。過熱すると、iOpenerが破裂することがあります。100°Cを超えるまで加熱しないでください。

⚠ 膨らんでいる状態のiOpenerは絶対に触らないでください。

⚠ 適切に温められたiOpenerは約10分間、温かい状態を保ちます。

手順 4



- 電子レンジからiOpenerを取り出します。iOpenerの中央は熱くなっているため、両端の平面になっている部分を持ってください。

⚠ iOpenerは大変熱くなっていることがあります。必要であれば、オープン用のミトンカバーをご利用ください。

手順 5 — iOpenerを使った他の温熱方法



① 電子レンジがない場合は、熱湯の中にiOpenerをいれて温める方法もあります。

- 鍋を十分な量のお湯で満たして、iOpenerを完全に沈めます。
 - お湯を沸かして熱になったら火を止めます。
 - iOpenerを熱湯の中に約2-3分間沈めます。iOpener全体が完全に浸かっているか確認してください。
 - トングなどを浸かって、温まったiOpenerをお湯から取り出します。
 - タオルでiOpener全体を拭き取ります。
- ⚠ iOpenerが非常に熱い場合は、先端のタブを持って火傷をしないようにご注意ください。
- iOpenerの準備は整いました。iOpenerを再度温める必要がある場合は、お湯を沸騰させて、火を止めてからiOpenerを2-3分間浸してください。

手順 6 — リアガラス



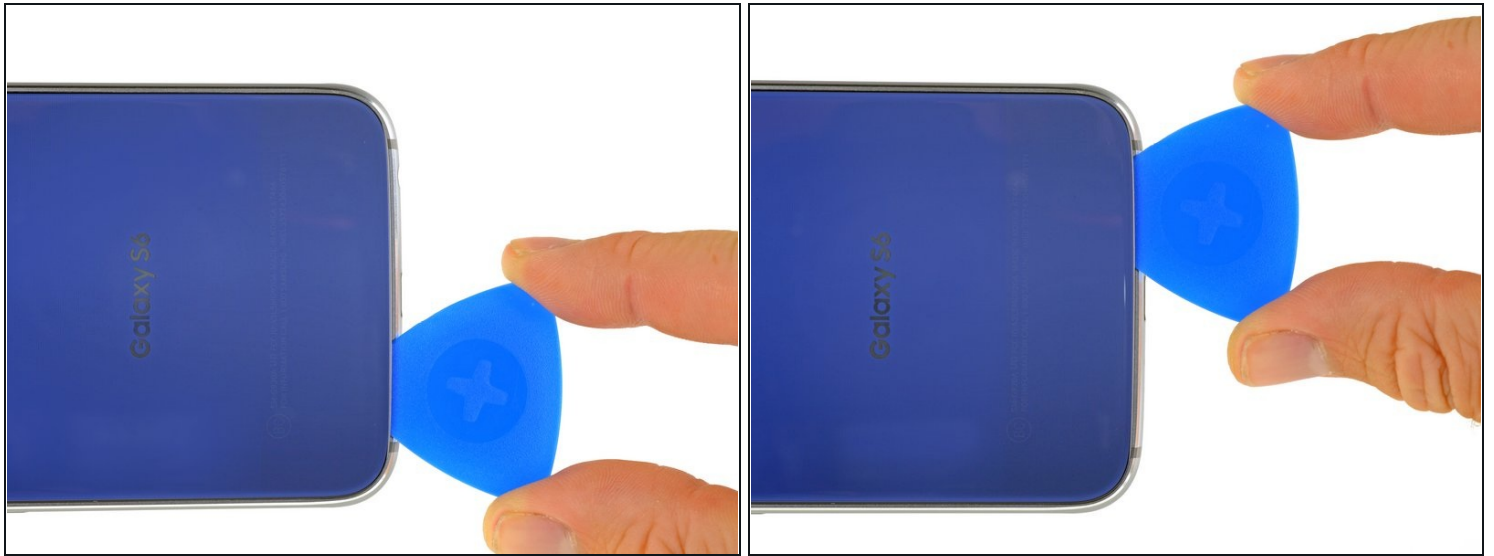
- ① デバイスを開口すると、防水機能を失います。作業を始める前に、交換用接着剤を準備するか、接着剤を交換しないで組み立てをする場合は、デバイスの防水性能について留意してください。
- ① ガラスにひびが入っている場合は、取り外し作業の間ガラスを固定するため、パネル全体に透明の保護テープを貼り付けてください。
- 温めたiOpenerをリアパネルの上に約2分間のせて、ガラスの端に沿ってつけられた接着剤を柔らかくします。
- ① iOpenerを数回にわたって温め、デバイスについている接着剤を柔らかくする必要があります。オーバーヒートを防ぐため、iOpenerの使用方法を参照してください。
- iOpenerをパネルの残りの部分に移して、約2分間のせて温めます。
- ⚠ ヘアドライヤー、ヒートガン、ホットプレートでも対応できますが、デバイスのオーバーヒートにはご注意ください。OLEDディスプレイや内蔵バッテリーは熱によるダメージを受けやすいからです。

手順 7



- リアガラスが熱くて触れない程度になったら、ガラスの下側端に吸盤カップを取り付けます。
- 吸盤カップを引き上げて、リアガラスの下に小さな隙間を作ります。開口ピックを隙間に差し込んでください。
- オプションで開口ピックを差し込んだ後、隙間にイソプロピルアルコールを数滴注入すれば、接着力を弱めることができます。

手順 8



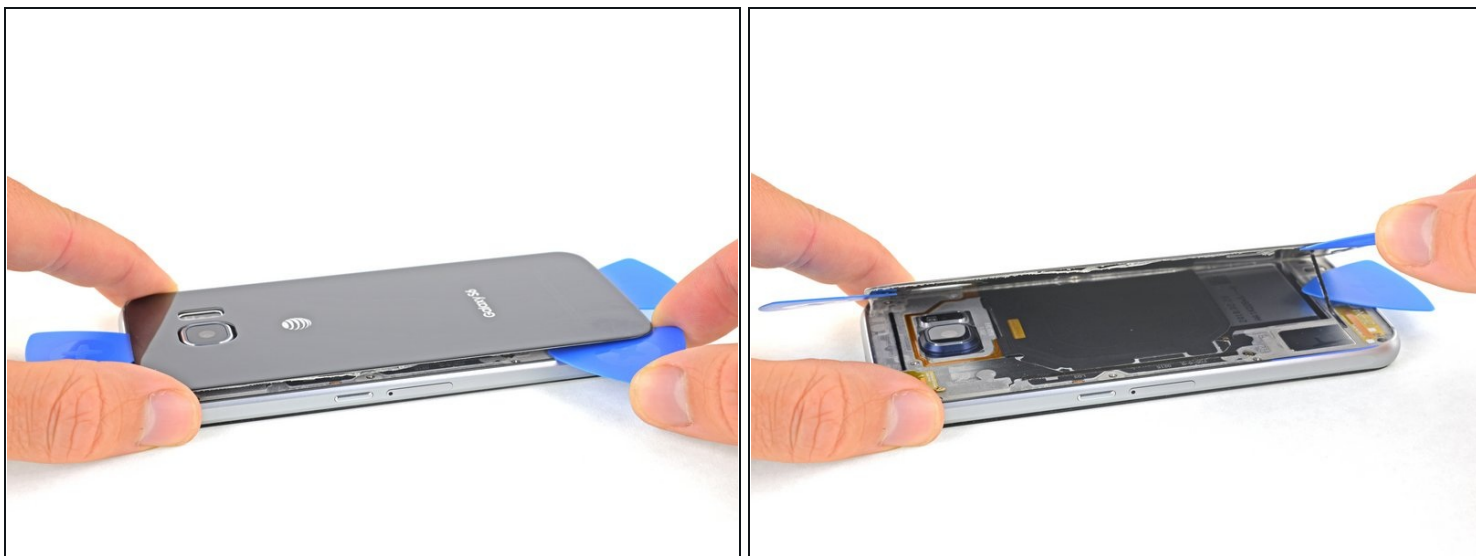
- ① デバイス下側端に沿って開口ピックをスライドして、リアガラスを固定している接着剤を切開します。
- その後、ピックをそのままにして、次の手順に進むときに2番目のピックを準備しておくとう便利です。ピックを挿入したままにしておくと、切開した接着剤の再接着を防ぐことができます。
 - 必要に応じて、リアガラスを再度温めて、接着剤の冷却に伴う硬化を防ぎます。

手順 9



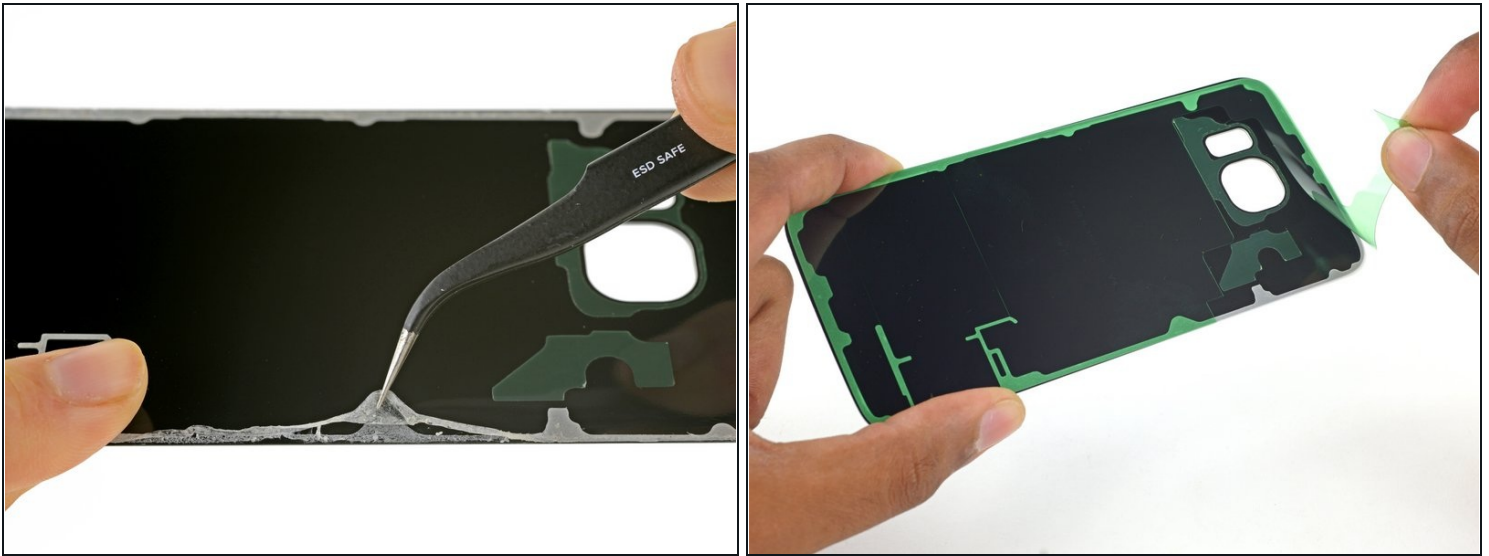
- デバイスの残りの3辺においても同じ作業を繰り返してください。
- 接着剤が再装着しないように、各エッジに開口ピックを残しておきます。

手順 10



- 開口ピックを使って、残りの接着剤を切開します。
- 背面ガラスを取り外します。

手順 11



① 新しいリアガラスをインストールするには

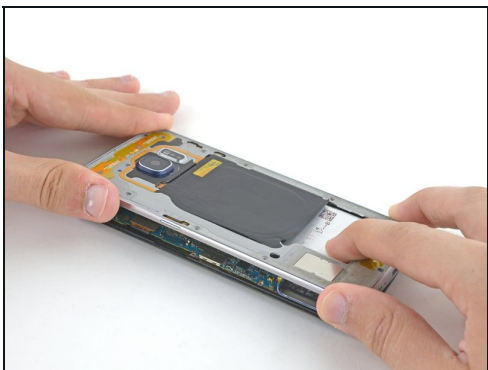
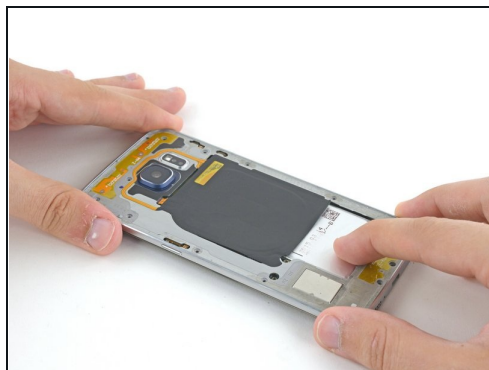
- ピンセットを使って、デバイスのカシスから残りの接着剤を綺麗に除去します。
- 高濃度イソプロピルアルコール(90%以上)と糸くずの出ないマジックワイプで接着面を綺麗に拭き取ります。前後ではなく一方向にむけて拭いてください。こうすることで、新しい接着剤用の表面を整えることができます。
- 新しいリアガラスから接着用シールを剥がしてください。リアガラスの一端をデバイスの筐体に向けて慎重に位置を揃え、しっかりとガラスを本体に向けて押し込みます。
- 古いリアガラスを再利用する場合や、プレインストールされた接着剤のついていないリアガラスを使用する場合は、[このガイド](#)を参照してください。

手順 12 — ミッドフレームアセンブリ



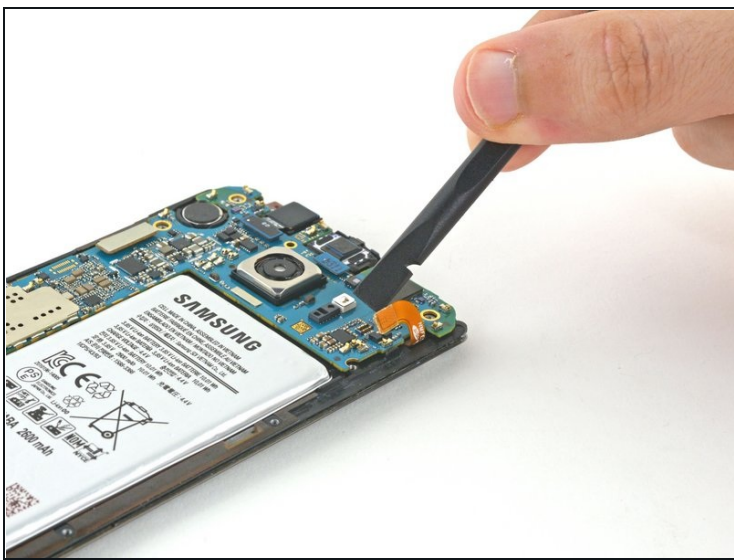
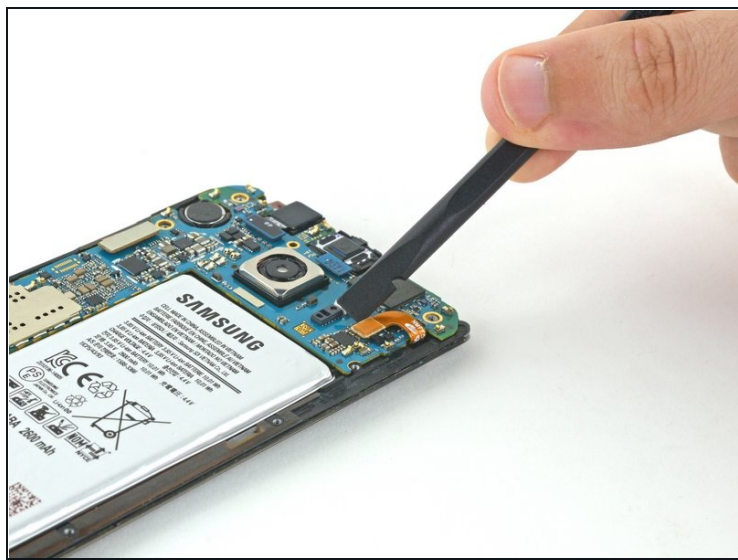
- ミッドフレームから3.3 mm #00プラスネジを13本取り外します。

手順 13



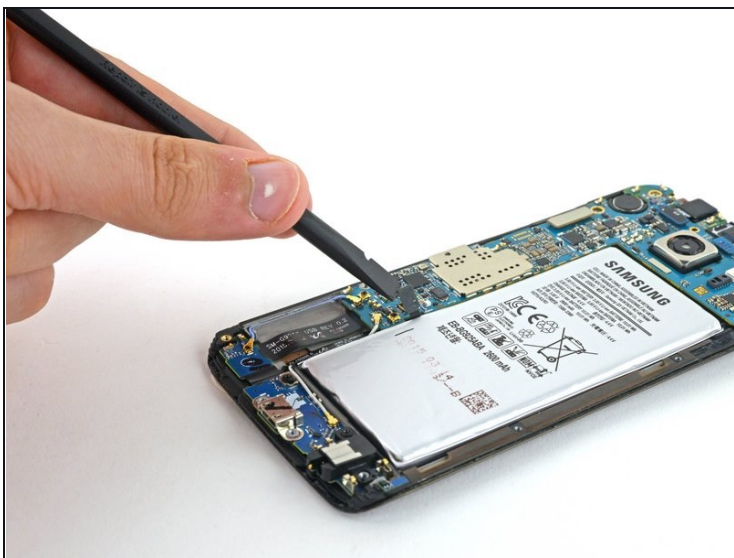
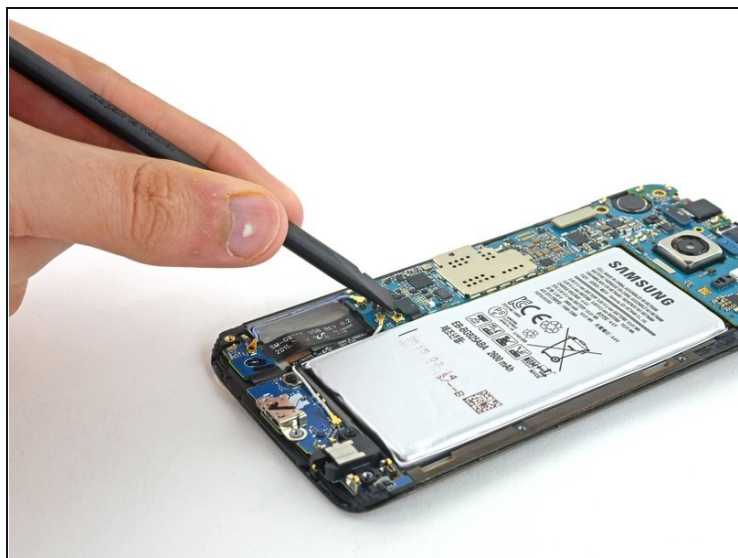
- バッテリーの裏側を下にして、デバイス本体からミッドフレームの端を持ち上げて外します。

手順 14 — マザーボードの交換



- スパッジャーの平面側先端を使って、マザーボードからバッテリーリボンケーブルの接続を外します。

手順 15



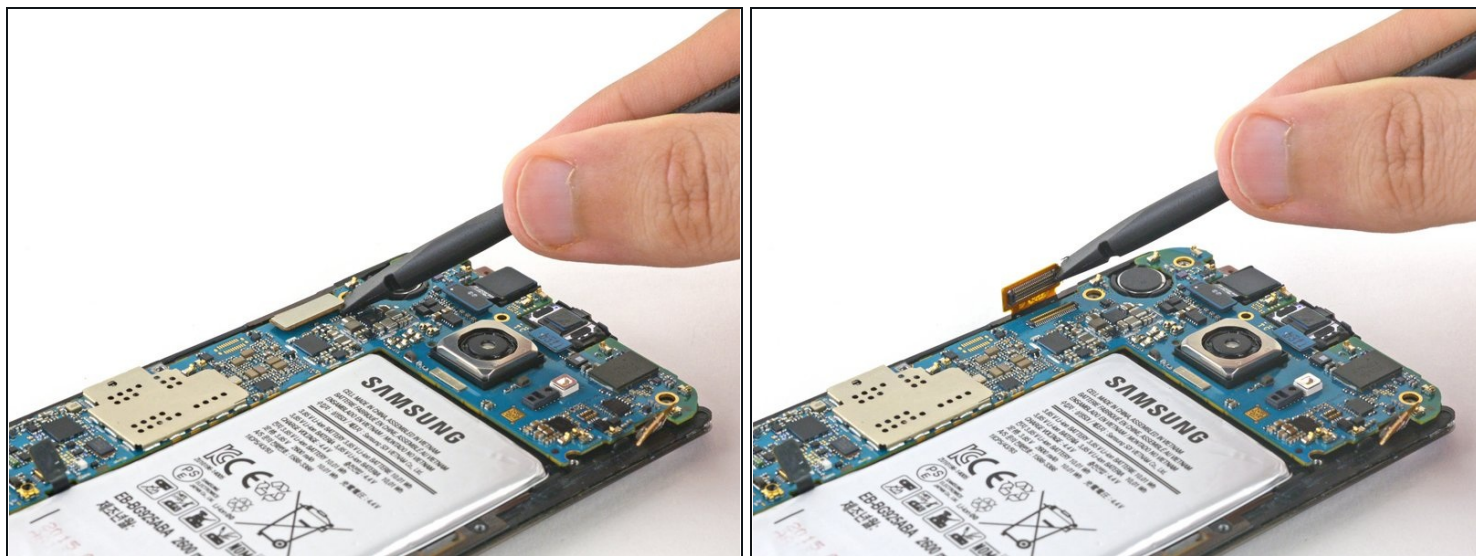
- マザーボードからホームボタンリボンケーブルの接続を外します。

手順 16



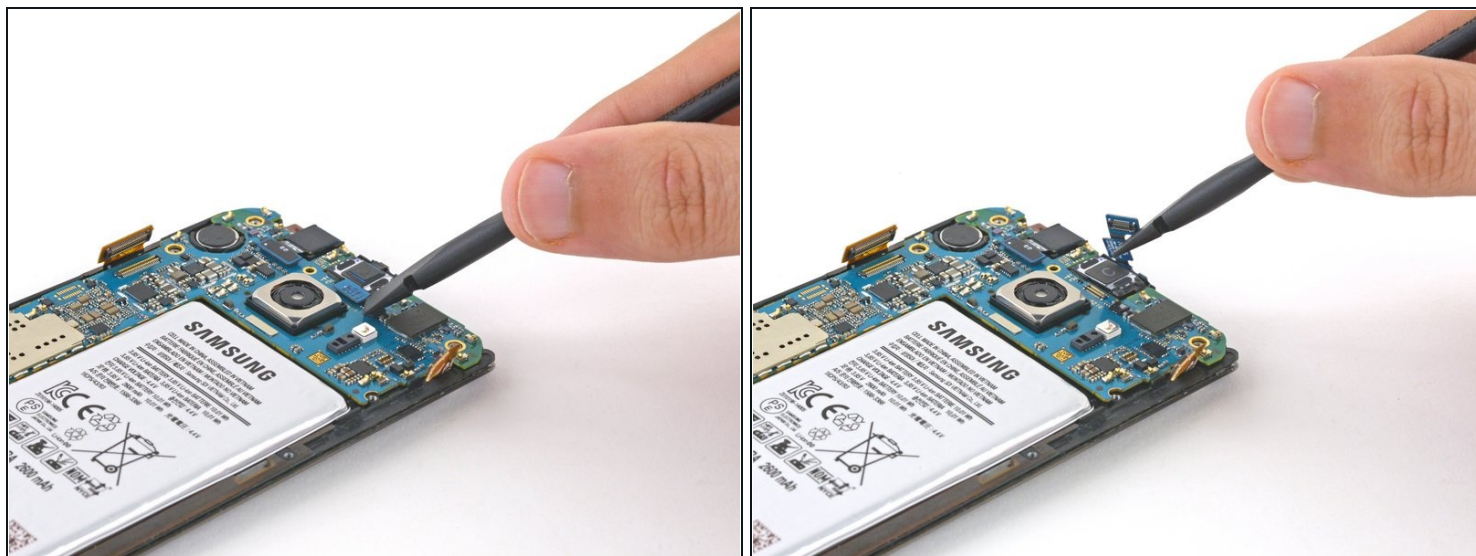
- スパッジャーの先端を使って、マザーボードから2本のアンテナインターコネクトケーブルの接続を外します。

手順 17



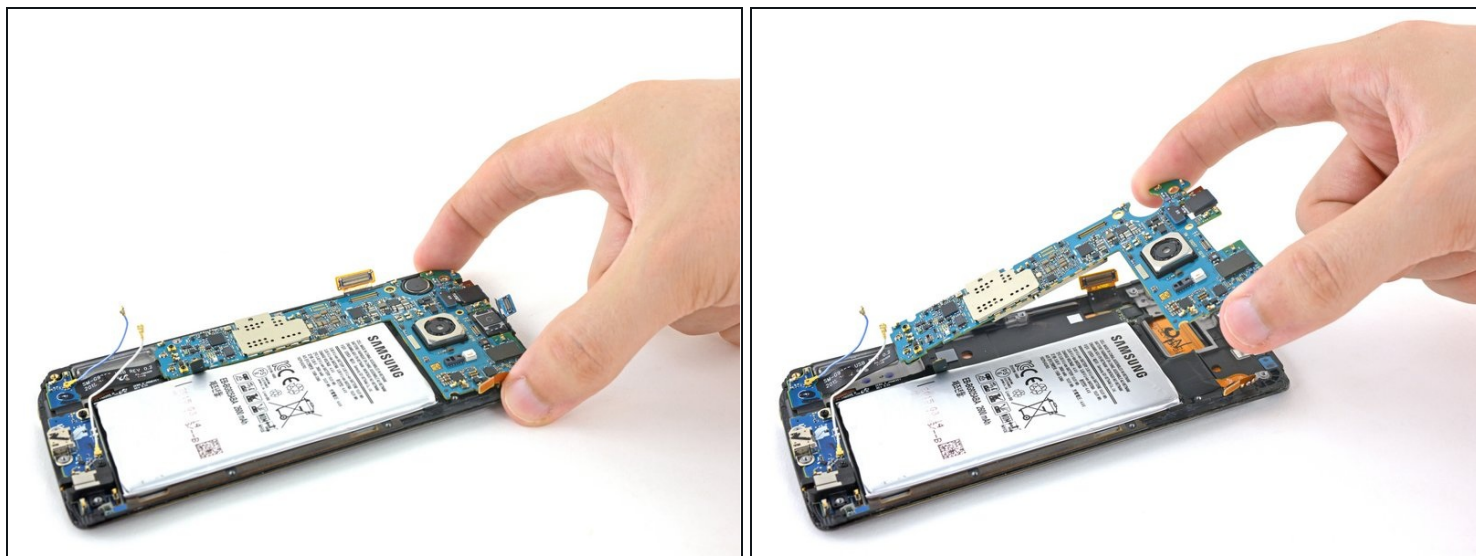
- スパッジャーの平面側先端を使って、マザーボードからディスプレイリボンケーブルの接続を外します。

手順 18



- マザーボードからイヤホンリボンケーブルの接続を外します。

手順 19



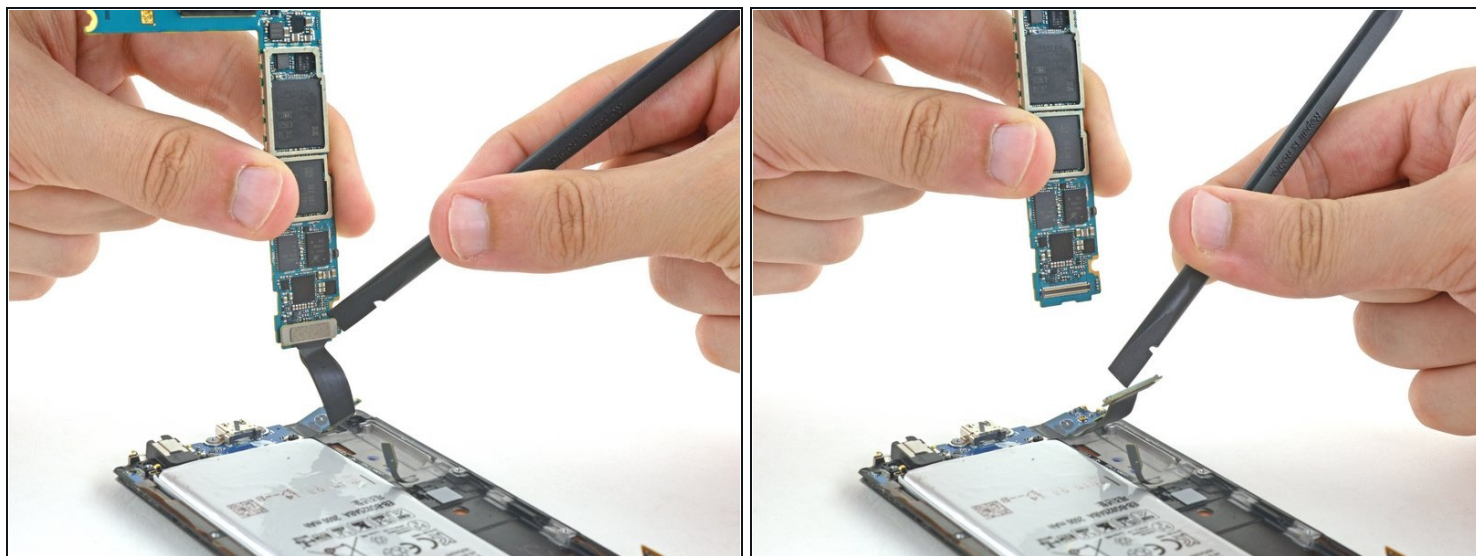
⚠ マザーボードは静電気にとっても弱いコンポーネントです。注意して作業を進めてください。
iFixit ではこの性質のコンポーネントを扱う際にはダメージを防ぐため、

- ここに翻訳を挿入する

⚠ ここに翻訳を挿入する

- ここに翻訳を挿入する

手順 20



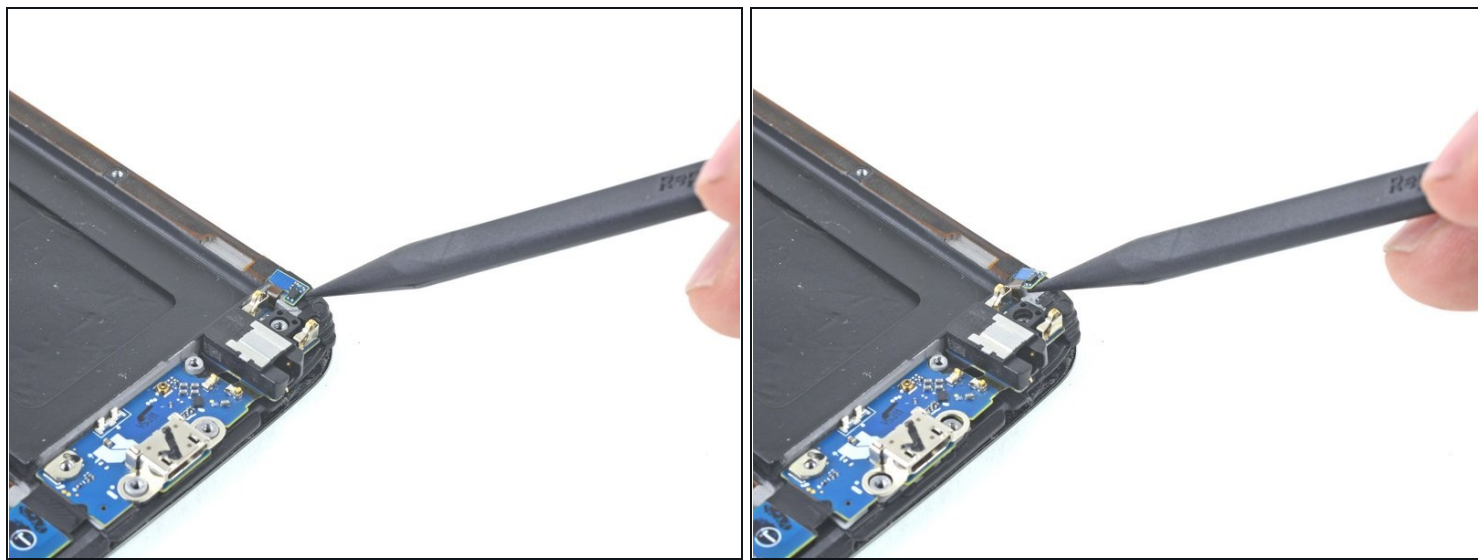
- マザーボードの裏側からドーターボードのリボンケーブルの接続を外します。

手順 21 — 充電ポート用ドーターボード



- 2.5mm #00プラスネジを2本外します。

手順 22



- 軽く接着剤で固定されている小さなドーターボードの一部をスパッジャーの先端でこじ開けます。

手順 23



- ドーターボードを持ち上げてデバイス本体から外します。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

リアガラスを再装着するには[このガイド](#)を参照してください。